

1日も早い災害廃棄物処理を目指します



フジタ・東亜・青木あすなる・大豊・本間・河北・佐藤JV

## もう一基の焼却炉も稼働しました

もう一基のストーカ炉が6月1日より焼却を開始しました。となりのキルン炉に比べるとずいぶん小さい焼却炉ですが、1日に100tの木くずを燃やす事ができます。6月からは、キルン炉と合わせて1日に300tの可燃物を燃やしていきます。



焼却を開始したストーカ炉 (100t/日)

Q: ストーカ炉とはどういう焼却炉なのでしょう?

A: 一般の家庭ごみを燃やす巨理清掃センターと同じ形式の焼却炉で、主に木くずを燃やす予定です。

## キルン炉の性能試験を実施しました

5月11日の9時より24時間、設計通りの性能で焼却できるか試験が行われました。

排気ガスの測定値(ばいじん量、いおう酸化物、塩化水素、窒素酸化物、一酸化炭素、ダイオキシン類、放射能)はすべて基準を満足しています。放射能は検出下限値(0.74Bq/m<sup>3</sup>)未満でした。

山元JV  
前田所長より  
ひとこと



東日本大震災にて亡くなられた方々、ご遺族、被災された方々を念頭において復興の一端を担えればと思い、災害廃棄物処理を進めています。

破碎・選別・焼却・運搬等の処理業務が開始されました。地元の方々にも処理業務に従事していただいています。周辺で堤防・下水等の復興工事も始まり、何かとご迷惑をかけますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 6月の業務予定

	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
【破碎選別工】					
木くず	運搬、破碎				
コンクリートがら	運搬、破碎				
津波堆積物	運搬、選別				
粗大・混合ごみ	運搬、選別				
焼却灰固化不溶化処理	固化、不溶化				
【搬出工】					
津波堆積土砂	新浜仮置場へ搬出				
コンクリートがら	新浜仮置場へ搬出				
【焼却工】					
キルン炉・ストーカ炉	焼却				
バイオマス発電設備	発電設備組立		発電		
【仮設工】					
灰保管設備	基礎工、テント設置				
新浜仮置場造成	盛土、フェンス設置				

・選別し、ごみを取り除いた津波堆積土砂や破碎したコンクリートがらを新浜の仮置場に運搬しています。これらは復興資材として再利用されます。

・二次仮置場の北側の町有地に9棟のテント倉庫を建設しています。仮置場内の3棟のテント倉庫と合わせて、2ヶ月分の焼却灰を仮置きできる施設です。

### 焼却灰の放射能濃度

主灰	102 Bq/kg	測定日
飛灰	620 Bq/kg	5月2日

### 二次仮置場の空間線量(μSv/h) 5月21日測定

事務所前	0.03	津波堆積物	0.11
焼却炉飛灰棟	0.04	金属くず	0.03
木くず	0.05	主灰保管テント内	0.05
コンクリートがら	0.03	飛灰保管テント内	0.20

地上1mの高さ、廃棄物から1mのところ測定しています

お問い合わせは  
0223-37-7451  
まで

発行: 災害廃棄物処理業務(巨理名取ブロック(山元処理区))  
フジタ・東亜・青木あすなる・大豊・本間・河北・佐藤 特定業務共同企業体  
〒989-2202 宮城県巨理郡山元町高瀬字浜砂1-4  
電話: 0223-37-7451

